

6	「交通」で幸せ実感	1	松山外環状道路やJR松山駅周辺の整備によって、交通環境や交通拠点機能を充実します。	
取組	松山外環状道路の整備		担当	道路建設課
実績	● 全体概要 事業主体：国・愛媛県・松山市 事業期間：H15年度～ ● インター線 ・ 自動車専用道路は、古川IC～市坪IC開通により全線開通(H28.12) ※ 側道は、県道松山伊予線の整備にあわせ開通予定 ● 空港線 ・ 国道56号～東垣生IC(仮称)までの側道部分開通(H29.9) ※ 国施工の自動車専用道路の開通時期は未定 ※ 松山空港から松山ICまでの所要時間が、整備前の28分から17分(平均)に短縮 ● インター東線 ・ 都市計画変更(H29.10) ・ 事業化に向け、愛媛県と東温市と合同で国へ要望(H29.11) ・ 国がH30年度新規事業化を公表(H30.3) ・ 予算確保に向け国へ要望(松山都市圏道路整備促進期成同盟会 H30.7) ・ 測量に着手(H30.9)  松山外環状道路インター線			

6	「交通」で幸せ実感	1	松山外環状道路やJR松山駅周辺の整備によって、交通環境や交通拠点機能を充実します。																								
取組	JR松山駅周辺整備		担当	松山駅周辺整備課、道路建設課																							
実績	<table><tr><td>土地区画整理事業</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30.11末</td><td></td></tr><tr><td>進捗状況</td><td>24.4</td><td>26.1</td><td>28.6</td><td>31.9</td><td>－</td><td>%</td></tr><tr><td>建物除去棟数</td><td>－</td><td>54.9</td><td>59.3</td><td>62.9</td><td>63.6</td><td>%</td></tr></table>						土地区画整理事業	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末		進捗状況	24.4	26.1	28.6	31.9	－	%	建物除去棟数	－	54.9	59.3	62.9	63.6	%
	土地区画整理事業	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末																					
	進捗状況	24.4	26.1	28.6	31.9	－	%																				
	建物除去棟数	－	54.9	59.3	62.9	63.6	%																				
	● 土地区画整理事業(16.7ha) 施行期間：H20～H38年度 ※県の連続立体交差事業完了後、2年かかる見込み																										
	《H27年度》 ・車両基地跡地整備基本構想の策定(H27.5) ・実施設計及び建物移転補償協議等 ・宅地造成、道路築造工事、移転補償の実施																										
	《H28年度》 ・公園ワークショップの開催(計3回) ・実施設計及び建物移転補償協議等 ・宅地造成、道路築造工事、移転補償の実施																										
	《H29年度》 ・県の連続立体交差事業の完成年度がH36年度予定に延期(H29.4発表) ・土地区画整備事業の第一区域の宅地造成工事が完了(H29.6) ・松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドラインの策定(H29.7) ・松山駅周辺土地区画整理事業の完成年度がH38年度予定に延期(H29.9発表) ・実施設計及び建物移転補償協議等 ・宅地造成、道路築造工事、移転補償の実施																										
	《H30年度》 ・松山市景観計画(松山駅周辺景観形成重点地区)の策定(H30.4) ・南江戸本村集会所の完成(H30.4) ・JR松山駅車両基地の先行買収 ・JR四国(駅東側を除く)・JR貨物の仮換地指定 ・宅地造成、道路築造、街区公園整備の工事、移転補償の実施																										
																											
JR松山駅 整備イメージ図																											

6	「交通」で幸せ実感	2	コンパクトシティを活かすため、自転車共同利用システムやパーク&ライドを推進します。連結LRT(低床路面電車)、路面・郊外電車のシームレス化、空港延伸など公共交通の見直しへ挑戦します。																	
取組	コンパクトシティの推進		担当	都市・交通計画課																
実績	● 自転車共同利用システムの構築 《検討経緯》 ・ 学識経験者、関係機関や団体等で組織する「自転車検討部会」を設置し、計4回開催(H27.7、11、H28.7、H30.12) ・ 第4回検討部会では、民営シェアサイクルを活用した実証実験について検討 《検討結果》 ・ 民間主導のシェアサイクル導入について検討を進めることとした。 ● パーク&ライドの推進 ・ JR北条駅近隣のAコープハートマート北条店の駐車場で開始(H30.1～) ※ 一定の利用条件のもと、平日のみ終日無料で駐車場を利用可 ● サイクル&ライドの推進 ・ 伊予鉄道が行う交通結節点整備に補助し、その一環で駐輪場が整備 ※ 余戸駅(H26年度)、久米駅(H28年度) 《鉄道駅の駐輪場整備状況》 <table><tr><td></td><td>伊予鉄道 郊外線</td><td>JR四国 予讃線</td><td></td></tr><tr><td>整備駅数</td><td>20/22</td><td>8/11</td><td>駅</td></tr><tr><td>整備率</td><td>91</td><td>73</td><td>%</td></tr><tr><td>収容台数</td><td>4,200</td><td>1,600</td><td>台 (H30.11末)</td></tr></table>  Aコープハートマート北条店のパーク&ライド  久米駅のサイクル&ライド					伊予鉄道 郊外線	JR四国 予讃線		整備駅数	20/22	8/11	駅	整備率	91	73	%	収容台数	4,200	1,600	台 (H30.11末)
		伊予鉄道 郊外線	JR四国 予讃線																	
	整備駅数	20/22	8/11	駅																
	整備率	91	73	%																
収容台数	4,200	1,600	台 (H30.11末)																	

6	「交通」で幸せ実感	2	コンパクトシティを活かすため、自転車共同利用システムやパーク&ライドを推進します。連結LRT(低床路面電車)、路面・郊外電車のシームレス化、空港延伸など公共交通の見直しへ挑戦します。	
取組	公共交通の見直しへの挑戦		担当	都市・交通計画課
実績	● 連結LRT(低床路面電車)の導入 - 伊予鉄道が導入した新型LRV(2両)の購入費に対し補助(H29.9) ※ 低床車両は定員が少なく輸送力が不足していたため連結を必要としていたが、その後の改良により単車でも定員の拡大(47名→60名)が可能になり連結が不要に。 ※ LRV導入率:32%(H30.11末) 「LRT都市サミット松山2017」の開催(H30.1) ● 路面・郊外電車のシームレス化 《鉄軌道検討部会》 - 学識経験者、交通事業者、関係団体で組織 - これまで6回開催し、「シームレス化に関する方針」の策定やそれに基づく課題整理等を協議(開催状況:H27.8、12、H28.6、8、H29.8、H30.6) 《シームレス化に関する方針》 - 市駅では電停とホームの近接化を基本に広場改変を検討する - 古町駅では路面電車の郊外線乗入れを検討する - 市駅での路面電車の郊外線乗入れは将来の検討事項とする 《立地適正化及び交通網形成検討協議会》 - 駅と電停の近接化を含む市駅前広場の空間改変について、関係機関等と協議し、整備構想を決定(H30.9) ● 路面電車の空港までの延伸 《松山空港アクセス向上検討会》 - 学識経験者、交通事業者、県等で設置(H27.6) - 当初導入8ルートを想定し、ルート毎に速達性や採算性の視点で概略評価を実施 - 概略評価に基づき、検討会で4ルートを検証対象に絞り込み(H27.12) 4ルートについて、道路交通への影響、費用等の視点で比較検討(H28年度) - 下記の検討結果を取りまとめ、検討会は解散(H29年度) 現状に基づく試算では、いずれの4ルートも整備費用が延伸による便益を上回る結果になったが、将来的に空港利用者や沿線居住人口の増加、沿線開発の誘発などの条件が満たされれば、整備費用を便益が上回る結果となった。 - 報告書を基に県地域交通活性化推進会議で課題の整理や検討を継続(H30年度)			
				
新型LRV		市駅前広場の整備構想		